

低調だった米雇用統計

ポイント① 4月の雇用統計は低調

5月7日に発表された4月の米雇用統計によると、失業率は3月の6.0%から0.1ポイント悪化の6.1%となりました。非農業部門の就業者数は3月から26.6万人の増加と、市場予想の100万人増加を大きく下回りました。経済回復の加速に伴う人手不足から求人が増加している一方、大規模な経済対策による給付や失業保険を受けた人々が、感染リスクを負ってまでして低賃金の職に就くのを控えるなど、雇用に需給ギャップが生じていること等が考えられます。

ポイント② サービス業が雇用回復をけん引

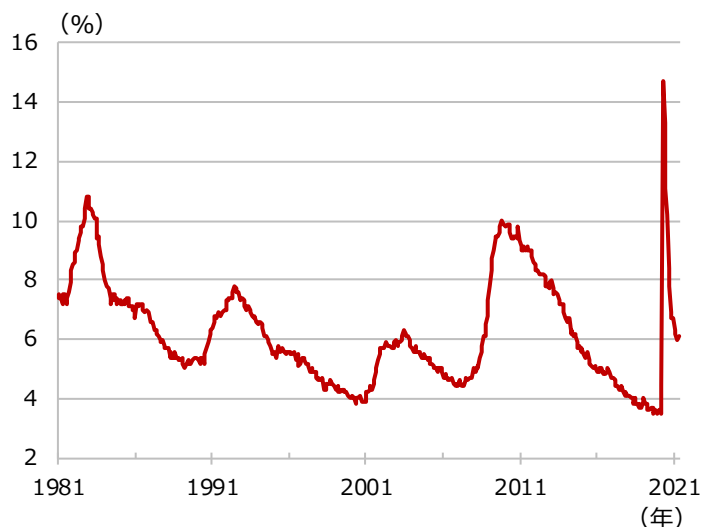
3月からの就業者数の増減を業種別にみると製造業は減少、半導体不足や寒波によるサプライチェーンの混乱などが影響していると考えられます。娯楽・接客業では雇用者数増加の伸びが加速しています。ワクチン接種の急速な拡大により、各地の飲食店の営業再開も進んでおり、サービス業が雇用回復をけん引しています。一方でこのような業種では人手不足が課題となっています。新型コロナウイルスの感染を恐れて、終息の目途が立つまで就職を控える人や、子供のオンライン授業の長期化に伴い、働きに出ることが難しくなっている人が一定数いること等が考えられます。

ポイント③ インフレ懸念は縮小

4月の雇用統計が市場の予測よりも弱かったことを受け、米国経済に対する過熱感は落ち着きました。一方で、FRB（米連邦準備制度理事会）による早期のテーパリング開始の懸念が後退、金融緩和が長期化するとの見方が強まっています。S&P500株価指数とダウ工業株30種平均が最高値を更新するなど、米株式市場は続伸している為、今後の動向に注目が集まりそうです。

図1：米国の失業率

期間：1981年1月～2021年4月、月次



(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図2：米国の業種別就業者数

	就業者数(万人)		
	21年3月	21年4月	増減数
非農業合計	14,404.2	14,430.8	26.6
鉱業・木材	61.3	61.5	0.2
建設	745.2	745.2	0.0
製造業	1,230.2	1,228.4	-1.8
卸売	566.0	566.8	0.8
小売	1,522.6	1,521.0	-1.5
運輸・倉庫	575.5	568.1	-7.4
公益事業	54.0	54.0	0.0
情報サービス	268.6	268.7	0.1
金融サービス	879.3	881.2	1.9
専門・ビジネスサービス	2,080.0	2,072.1	-7.9
教育・ヘルスクア	2,339.6	2,339.5	-0.1
娯楽・接客	1,373.6	1,406.7	33.1
その他サービス	554.1	558.5	4.4

(注) 増減数は2021年3月から4月の変化。

(出所) 米労働省労働統計局データより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

5月14日

米ミシガン大学消費者マインド
指数 (5月速報)
米鉱工業生産指数、米小売
売上高 (4月)

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。